

Be ambitious! 一步先へ



～'24年度同時改定を力に変えるために～

2024年6月28(金)・29日(土) 会場：かでの2.7

改定で、様々な難問が突き付けられました。

変革を求められる今、明日のデイ・ケアのために札幌で変革のためのヒントをつかみましょう。

特別講演 介護報酬改定、どうなるデイ・ケア

上田 貴代先生から「デイ・ケアのこれからと期待」をお話ししてもらいます。超高齢社会の進展、人口減に直面する国の政策では医療費・介護費用を抑えることが必須です。デイ・ケアの生き残り戦術を読み解いていきましょう。

特別企画1 患者さんのアドヒアランスを上げるために

アドヒアランスを高める手法を学べるように2つの教育講演を準備しました。

- 1) 竹林 崇先生による上肢活用アプローチとしてのトランスファーパッケージの活用
- 2) 石垣 智也先生による下肢活用アプローチとしての行動変容技法の活用

この2つを学べば、患者さんの「活動」向上への日々のアプローチが変わります。必見です。

特別企画2 デイ・ケアは地域リハの旗艦になれるか

先達の浜村・斉藤両先生の地域へのおもいを学び、そこからのデイ・ケアの在り方を参加者と一緒に議論していきたいと思えます。外来をしていない回復期リハ病棟も増えてきました。地域に開かれているデイ・ケアが今後大きな役割を占めていくと考えます。

特別企画3 ICFのポジティブ思考を「参加」への原動力に！！

皆さん、ICFを十分活用していますか？ この企画では日本で一番のICFスペシャリストである北海道大学の向野 雅彦教授にICFのポジティブ思考の基調講演をいただき、PT/OT/STの現場での実践を通じた症例から「参加」につなぐアプローチを学んでいきます。大いに参考になるシンポジウムにしています。

特別企画4 認知症の人との接し方、ユマニチュード技法の有効性を学ぶ・・・

ユマニチュード技法は、認知症の方と接して困惑した時に活用できる、なくてはならぬ技法です。ユマニチュード学会の理事であり、心理・応用コミュニケーション学の権威でもある大島 寿美子先生の講演は明日から実践で役に立つ講演です。目からうろこです。是非、聴講してください。

《主要プログラム確定版》

【1日目 6月28日(金)】

- ・大会長講演：Be ambitious！一步先へ ～私のこれまでの地域活動～
橋本 茂樹 札幌湊仁会リハビリテーション病院 院長
- ・協会長講演：デイ・ケアの今とこれから ー改定を受けてどう変わるべきかー
近藤 国嗣 東京湾岸リハビリテーション病院 院長
- ・特別講演①：令和6年度介護報酬改定のポイント-リハビリテーションを中心に-
上田 貴代 厚生労働省 老健局老人保健課 高齢者リハビリテーション推進官
- ・特別講演②：デイ・ケアは地域リハビリテーションの旗艦になり得るか？
斉藤 正身 医療法人真正会 霞ヶ関南病院 理事長
浜村 明德 医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院 名誉院長
- ・教育講演①：日常生活において使える手を実現する脳卒中リハビリテーション
竹林 崇 大阪公立大学大学院リハビリテーション学専攻 医学部リハビリテーション学科 教授
- ・教育講演②：認知症の人と良好なコミュニケーションを実現するために
～ユマニチュードの理念と技術から～
大島 寿美子 北星学園大学文学部心理・応用コミュニケーション学科教授
日本ユマニチュード学会理事
- ・老健事業報告：令和5年度生活期リハビリテーションにおける適切な評価の在り方に関する調査研究事業報告
染谷 和久 医療法人 真正会 霞ヶ関南病院 情報戦略室 室長

【2日目 6月29日(土)】

- ・教育講演③：在宅生活維持に重要なデイ・ケアでの口腔・栄養・リハの三位一体アプローチ
佐々木 淳 医療法人社団悠翔会 理事長・診療部長
- ・教育講演④：法的な立場からみた、デイケアの業務（デイケアにおける送迎業務の法的課題）
鈴木 雄介 鈴木法律事務所/全国デイ・ケア協会
- ・教育講演⑤：セルフマネジメントに役立つ行動変容技法の活用法
石垣 智也 名古屋学院大学リハビリテーション学部 理学療法学科
- ・シンポジウム1：認定デイ・ケアマスター/在宅リハEGコース修了者の実践報告
研修認定委員会企画
実践報告①「管理者として事業所の質を高める取り組み
在宅支援リハビリテーションセンターぎんや 作業療法士 佐藤 公紀
実践報告②「管理栄養士として現場業務での取り組み」
介護老人保健施設いるかの家リハビリテーションセンター 管理栄養士 三宅麻絵
実践報告③「認定デイ・ケアマスターとして、在宅リハEGコースを受講し自身の業務に活かしていること～より良いチーム作りを目指して～」
いしかわ内科 理学療法士 野崎 隆司
- ・シンポジウム2：ICFのポジティブ思考をどう活用するか ～在宅での「参加」を意識したデイ・ケアにおけるICF活用の再考～
基調講演：向野 雅彦 北海道大学医学部リハビリテーション部 教授
シンポジスト1：OT 堀 翔平 札幌湊仁会リハビリテーション病院
シンポジスト2：ST 塩原 大輝 霞ヶ関中央クリニック
シンポジスト3：PT 岩淵 隆俊 介護老人保健施設せんだんの丘